



# ふかや

# 市議会だより

No.24  
2011.11.1



## 9月定例会

何に使うの？	2,3
議会へ報告！補助金等見直し	4,5
こんなことに使われました(決算認定)	6,7
議会改革！ほか	8,9
市政のここが聞きたい	10~17
議会あれこれ拡大版	18,19
ボランティアさん紹介	20

### 大寄小 学校会 秋の運動会

(裏表紙参照)



会議会あれこれ「附帯決議ってなあに？」…附帯決議とは、法律に基づいたものではありませんが、議案が可決された場合、執行上の要望や留意事項等を述べる決議のことです。



総額22億7078万円の  
補正予算が可決!

**道路維持管理費**  
**1億3007万円**

台風12号の被害による舗装修繕や雑草刈り費です。



**中小企業緊急対策!!**  
**1億1402万円**

— 6月に続き追加! —  
想定を上回る申請件数に対応するための拡充。これにより、中小企業緊急運転資金融資あっせん事業がさらに拡充されました。

**主な内容**

**道の駅管理事業**  
**1億2945万円**

道の駅おかべ・道の駅はなぞの駐車場整備工事、リニューアル工事等の費用です。



**不登校対策事業**  
**300万円**

— 県の委嘱事業として —  
川本中学校区がモデル校に! —  
小学校から中学校への進学をスムーズにするために支援体制を強化します。中学校の教諭が小学校に2校に週1回ずつ出向き授業を行います。

長引く景気低迷と震災後の経済の悪化に対処するため、市内企業への緊急対策や台風12号被害への対応、また財産の取得、補助金の見直しによるもの等が含まれる。

**放置自動車の処理がスムーズに!**

今までは年1回開かれる深谷市放置自転車・自動車対策等委員会の判定がなければ放置自動車を廃物として認められませんでした。条例の改正により委員会の判定がなくても規則で定める自動車廃物認定基準に該当すると認められれば、市長はその自動車を廃物として認定することができるようになりました。つまり年に1回しか廃物として認定されなかった放置自動車が、基準を満たせばその都度認定されるようになったというわけです。



大研修棟内ホール

**財産の取得**

とまった土地を取得する絶好の機会であり、既存の建物が公共施設として有効活用できるため、積極的に交渉してきた。市側としては、上柴地区に

埼玉県は、県立総合教育センター深谷支所を平成23年3月31日をもって廃止とした。県は今後この施設を活用する計画はなく、地元深谷市に優先的に譲りたいとの申し入れを受けた。市側としては、上柴地区に

**現地を視察**

9月20日の一般質問3日目終了後、議会施設を視察した。建物の耐用年数を50年とし、現時点の残存年数は20年あることから、十分に利用価値があると考えられる。

**賛成討論**

仮に市が取得しないと、上柴地区の大きな敷地が無秩序に開発された場合の課題は大きい。取得目的については内容を議会が精査して判断すべきである。

**反対討論**

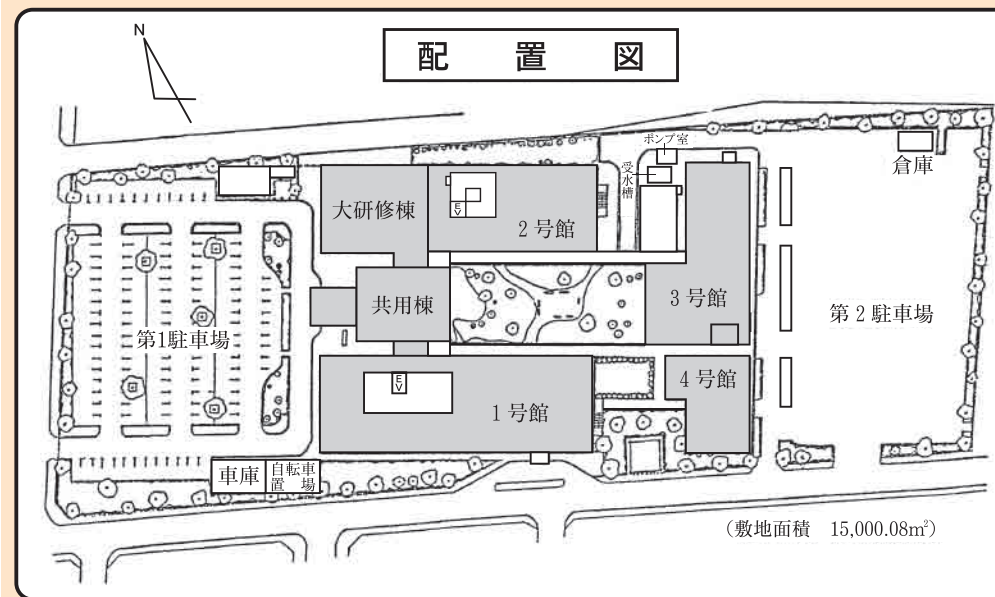
使用料や利用料が値上げされ、市民の負担が増え、団体への補助金はカットされる中、今後の使用目的がはっきりしない土地・建物の取得は認められない。

**賛成多数で可決**

**旧総合教育センター深谷支所の概要**

- 所在地 深谷市上柴町西4丁目2番7号
- 土地 15,000.08㎡ 5億4,783万円
- 建物 11,649.97㎡ 1億3,942万円

昭和58年に建設され、建設費は約30億円。耐震状況は新耐震基準。



**何に使うの?**

— 上柴の中心地、県から取得 —

平成23年深谷市議会第3回定例会は、9月1日から9月26日までの26日間の日程で開かれました。今議会では、平成22年度決算認定関連議案11件、財産の取得など16件の27議案が市長から提出されました。また、附帯決議や国県への意見書などの議員提出議案3件及び市民などからの請願2件が審議されました。



# 議会へ報告！補助金等見直し

「深谷市補助金等見直し方針」に基づき全269件すべてを見直した。ここでは、当初予算ですでに計上しているものも含め、補助金見直しの主だったものを紹介する。今年度補助金に関する総予算額は約17億9807万円、福祉に関する補助金が約6割となっている。

## ◆これまでの問題点◆

長期間にわたり補助金等が見直しされなかったということは、刻々と変化する社会情勢や市民ニーズに対応できていない補助金を放置している可能性がある。また、一部の受益者を既得権化し、公平な税の再分配となっていないとの現状も否定できない。

今回の見直しは、今の時代に即した公平で公正なものであるかを再検証することにある。

## ◆今回見直しされなかった場合は？◆

今年度の予算額は約17億9千万円であるから、見直されなかった場合の予算額は約19億2千万円になっていたため、その差額は約1億3千万円と試算される。

## ◆補助金等の在り方に関する基本原則◆

1. 公平であること
2. 適正であること
3. 公益性があること
4. 重要度の高いこと
5. 行政効果があること



## ◆補助金等の見直し基準◆

1. 公平性を再確認できる
2. 要綱等を策定し公開している
3. 事業費補助としている
4. 自己負担、自己責任としている
5. サンセット(終期設定)方式としている

### 市単独土地改良事業費補助金

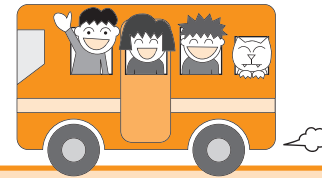
改良区や水利組合が実施する小規模事業に対し、交付1件当たりの上限額を規定した。  
**575万円**

### 不妊治療費の助成金

これまでは、限度額を定めているだけであったことから、補助率1/2に見直した。  
**550万円**

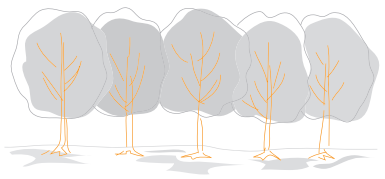
### コミュニティバス(くるりん)運行事業に対する補助金

現状のまま **6261万円**



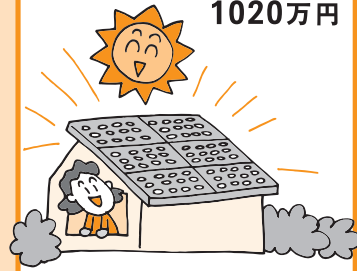
### ふかや緑の回廊構想に関する補助金

推進協議会に対する運営費・事業費の補助。対象経費を限定するとともに、補助率の見直し、上限額を規定。  
**398万円**



### 太陽光発電システム設置にかかる補助金

これまでの1kw×3万円、上限額12万円に加え、補助率1/2に見直した。  
**1020万円**



### 議員の政務調査にかかる補助金

議員一人当たり  
25,000円×12カ月(今年度は11カ月)  
定数の削減により前年度より、165万円のマイナス。  
**855万円**

教育費 4.3%

その他 4.8%

農林水産業費 5.7%

衛生費 5.6%

商工費 14.9%

議会費総務費 5.6%

民生費(福祉のために使われる経費) **59.1%**

**全補助金額に対する割合**  
(主なものを紹介)

《表の見方》  
補助金の名称など今回の見直しや内容金額は平成23年度予算額

### 耐震診断・改修に関する補助金

昭和56年以前に建てられた建築物に対して、無料耐震診断の結果が「危険」と診断された後、建築士による耐震診断、耐震改修や建替えを行った場合、その費用の一部を補助する。現状のまま継続。  
**1000万円**

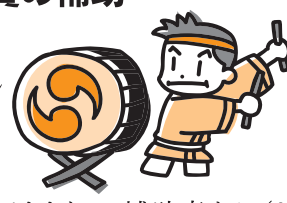
### 人間ドック・脳ドック助成金

人間ドック等を受診する場合、その費用の一部(17,500円)を助成する。現状のまま継続。  
国民健康保険 **1750万円**  
後期高齢者医療 **87万円**

### 市内で行われる祭りに関する運営費の補助

- ・おかベコスモス祭
- ・ふれあいカーニバル
- ・深谷花火大会
- ・重忠まつり

対象経費を限定するとともに、補助率を1/2とし、上限額を規定。  
**752万円**



### 工場等立地奨励金

深谷市の産業振興や雇用機会の拡大に寄与した投資総額1億円以上の企業へ奨励金を交付する。  
**1億1255万円**

### 産業祭補助金

対象経費を限定するとともに、補助率1/2に見直し、毎年予算の範囲で市長が別に定める額とする。  
**915万円**

### ふかやシティハーフマラソン大会の運営補助金

対象経費を限定するとともに、補助率1/2に見直し、交付決定一件当たりの上限を規定。  
**570万円**

### 私立保育園に対する各種補助金

- ・障害児保育事業
- ・職員処遇改善費
- ・親支援推進事業
- ・一時預かり事業
- ・延長保育促進事業
- ・地域子育て支援センター事業など

メニューに合わせた補助を行っている。国・県の補助規定のものは、今回現状のまま継続とし、それ以外のものは見直しとした。  
**4億678万円**

### 民生児童委員の活動に対する補助金

市内に263名の委員が活動している。一人当たり年額11万6390円に見直した。  
**3316万円**

### 障害者(児)生活サポート事業補助金

現行利用者負担は400円/時間であるが、平成26年度まで段階的に県要綱にあわせ950円/時間となる。  
**6918万円**

### 社会福祉協議会に対する運営費補助金

地域福祉事業に係る職員の人件費、福利厚生費などを補助している。現状のまま継続。  
**9871万円**

### 障害者施設に対する運営費補助金

- ・生活ホーム
- ・デイケア施設
- ・精神障害者小規模作業所など施設への運営費の補助。現状のまま継続。

**4220万円**

### 人権に係る団体に対する補助金

- ・部落解放同盟埼玉県連合会
- ・部落解放愛する埼玉県連合会等

に対する補助金を平成23年度から3年間で30%の削減とした。  
**2275万円**

### 老人クラブ等補助金

対象経費を限定するとともに、平成26年度までに国・県の基準とするよう見直した。  
**888万円**



# 「こんなことに使われました」

## 平成22年度 深谷市一般会計 決算認定

9月定例会において、昨年度の全ての会計、歳入歳出決算が議案提出されました。深谷市議会では議会改革の一環において、今年度も決算特別委員会を設置することとし、審査の精度を向上させることに努めました。一般会計においては424事務事業全ての決算シートを基に、各常任委員会を各分科会としてそれぞれの所管ごとに審査を進めました。以下に主な審査状況を質疑とともに報告します。なお、今回議案提出された決算は次の通り。

【一般会計】【国民健康保険特別会計】【老人保健特別会計】【後期高齢者医療特別会計】  
【農業集落排水事業特別会計】【国済寺土地区画整理事業特別会計】【岡中央土地区画整理事業特別会計】  
【武川中央土地区画整理事業特別会計】【小前田駅西北部土地区画整理事業特別会計】  
【下水道事業会計】【水道事業会計】



### 附帯決議採択に対して

**主旨説明** 議員の個人的な見解よりも議会としての考え方を決算認定にあたり付しておくべきと考える。各分科会において出された意見を放置せず、まとめさせていただいた。

**反対討論** 議会は言論の府である。意見は討論として述べるべきである。また、附帯決議は法的拘束力はない。さらに4番と6番の文言は議会意思として挙げることに反対である。

賛成12人

反対10人

### 決算について附帯決議

- 労働費**  
労働諸費・勤労者住宅資金貸付金あっせん事業について、平成22年度新規貸付件数が0件であり、今後制度PRに努められたい。商工費・小口特別資金融資あっせん事業についても、2年度にわたり実績がなく、前述に準じ努力されたい。
- 財産収入**  
財産運用収入・土地・建物貸付収入について、高額な収入未済額が生じ、前年に比し増額傾向にある件がある。適正な方策等により早期解消に努められたい。
- ユニバーサルデザイン推進事業として、出張講座を主体とした普及啓発活動となっている。住環境ユニバーサルデザイン化促進事業も平成22年度で廃止であり、平成13年度策定の深谷市ユニバーサルデザイン基本方針を見直し、事業化のあり方を再度検討すべきである。
- 悪化している雇用情勢の中、受給者や事業費の高止まりを見せている生活保護費であるが、引き続き適切な事業運営を行うとともに、就労支援等を通し、自立した生活を促す取組を強化されたい。
- 学童保育の公私間格差について、さまざまな運営形態・利用料等がある中、格差解消に向けた基準のあり方等、引き続き検討されたい。
- 保育園保護者負担金等については、公立保育園収入未済額23,864,600円（調定額213,865,200円）民間保育園収入未済額56,241,550円（調定額521,805,450円）公立学童保育室の収入未済額8,076,350円（調定額64,948,350円）に対する徴収業務をさらに促していくべきである。

以上、決議する。

主な事業…  
小・中学校大規模改修（耐震補強工事等） 約6億3500万円  
文化会館管理運営（市民文化会館とアドニス） 約9500万円  
ビッグタートル整備管理 約5300万円

＜主な質疑＞  
シティハーフマラソン  
問 深谷シティハーフマラソンの負担金と評価は。  
答 市補助金570万円で、市内外から大勢の参加があり効果の大きい大会である。

**教育費 約44億6800万円**

**消防費 約18億6000万円**

**土木費 約49億4400万円**

＜主な質疑＞  
生活道路整備について  
問 要望件数に対し、整備状況は。  
答 新規要望は99件であるが、合併後累積されたものは471件あり、それに対して8件の道路改良に着手した。  
道路照明灯設置管理  
問 要望数と設置数は。  
答 新規要望と未対応を併せて245基に対して、設置できたのは86基である。

**商工費 約5億7900万円**

**農林水産業費 約11億7500万円**

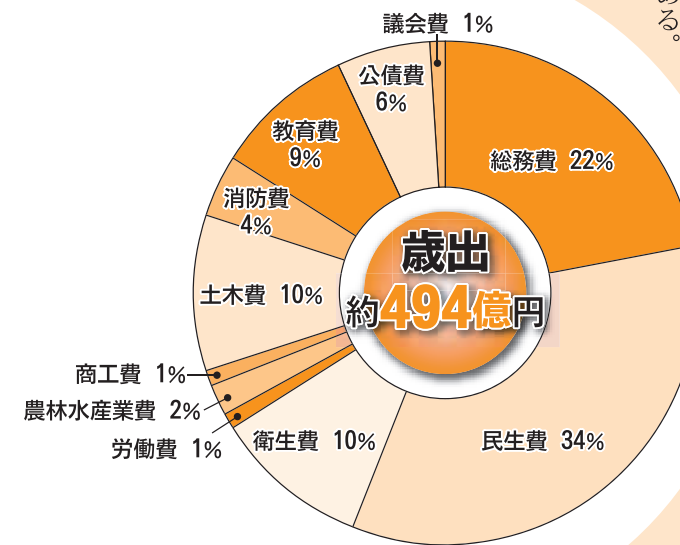
**労働費 約2億7000万円**

**公債費 約33億4100万円**

借金の返済

**議会費 約3億6600万円**

議員報酬（議員34人分）  
約2億6000万円



**衛生費 約50億円**

主な事業…  
深丘園建設費 約12億9500万円（総事業費 約22億400万円）  
ごみ収集委託料 約3億6000万円

＜主な質疑＞  
入札業務について  
問 入札制度運営事務の負担金とは。  
答 県電子入札共同システムの負担金である。  
問 メリットはあるのか。  
答 電子入札システムを使う事で速やかな開札ができることや、業者が指定会場に来なくてもいいことなど。  
企業誘致について  
問 工場等立地促進事業は昨年、何社でいくら交付しているのか。  
答 4社に奨励金を交付し、合計約3300万円である。

主な事業…  
寄居PスマートIC調査 約125万円  
コミュニティバス運行 約6100万円

**総務費 約107億2900万円**

**民生費 約166億7500万円**

主な事業…  
障害者支援事業 約13億円  
子供手当 約25億3000万円  
こども医療費支給 約3億9000万円  
生活保護 約20億円

＜主な質疑＞  
民生費の伸び  
問 民生費の伸びが大きい。国のように自然増額を示すべきでは。  
答 民生費では分類していない。扶助費が相当の割合を占めてきているのでよく把握しながら財政運営に努める。  
生活保護について  
問 保護申請時に民生委員の係わりについて、最近の傾向は。  
答 最近では民生委員が同行せず直接窓口に来られる方がほとんどである。



深谷市議会

「議会改革」

議員の意識改革が焦点!

6月定例会で設置された「議会改革委員会」ですが、議論を深めながら、既定の制度とどのように折り合いをつけるのか、具体的な議論へと発展しています。また、他議会の取り組みについて研究すると、全国的に方向性は一致していても、それぞれの議会環境により議論の中身は千差万別です。ただ間違いなく共通して言うことは「議会改革は議員の意識改革」であり、議会への信頼を高めるためにも改革が必要です。



「決算認定」審査精度を高めるために  
前年度の決算は9月定例会で審査されますが、これまで以上に審査の精度を向上させるために特別委員会、各分科会を設置しました。2年前に導入し、今年で3度目の決算審査になります。



全ての事務事業シート

分科会では先進的取り組み  
決算審査にすべての事務事業シートを資料として求めている市議会は、まだ少なく、先進的な取り組みです。今後は、膨大な資料の読み込みを確実にしていくことが議員に課せられます。



「決算特別委員会を終え 市職員と意見交換」

議会報告会の開催

市議会議員による「議会報告会」を定期的に開催していくものです。特に予算関連は市民生活に直接関係し、大きな関心事であると考えます。「市議会」でどんな議論があったのか、議員の言葉で説明していく報告会開催を検討しています。

賛否の公表

深谷市議会の現行の制度では、賛否の公表は行っておりません。議員全員が議会人として採決に責任を持つならば、賛否の公表は当然のことと考えます。議会インターネット放映も昨年度より始まり、議決の可視化も導入するべきと考えます。

ただ今、議論中!!

今後の主な検討項目

予算特別委員会

2年前より決算特別委員会を導入し、事業評価の審査は精度が向上してきました。次の取り組みとして、決算での評価を次の予算にどのようにつなげていくのか、予算特別委員会の設置を視野に入れながら検討を始めた。

反問権を導入

反問権とは、質疑の論点がずれないように、主に市側から議員に対し確認の質疑が行える制度です。また、議員と市側双方の議論になることで、質の高い議論へと発展する効果が期待されます。

これまでの取り組みについては

前号の特集を参照願います

市民産業委員会

所管・市民生活部、産業振興部 及び農業委員会の所管に関する事項



委員長 田嶋 村川  
副委員長 加藤 永柴  
委員 馬場 永柴 加藤 村嶋  
勝重 温徳  
茂彦 雄子 浩均

総務委員会

所管・企画財政部、総務部、秘書室、会計課、消防本部、選挙管理委員会、監査委員、公平委員会、固定資産評価審査委員会等



委員長 三田部 恒明  
副委員長 清水 清  
委員 新井 須藤 高田 仲田 博邦 稔之男

環境都市委員会

所管・環境水道部、都市整備部 及び検査室の所管に関する事項



委員長 中矢 幸太郎  
副委員長 倉上 谷子  
委員 小森 秀由 武井 秀朗 田島 信吉

福祉文教委員会

所管・福祉健康部、子ども未来部 及び教育委員会の所管に関する事項



委員長 吉田 幸太郎  
副委員長 五間 幸太郎  
委員 石川 克正 今村 三治 加藤 利江 清水 義睦 松本 政義

国への意見書提出請願

**賛成討論** 今ある原発は稼働させない。この請願は危険な原発に対する警告の意味もあることから賛成である。

**反対討論** 文章中に不適切な表現がみられることや、国のエネルギー問題などを考慮した文章になっていないことから反対である。

賛成 17人

反対 8人

『原発からの撤退を求める意見書提出への請願』(趣旨要約)

現在の原発の技術は本質的に未完成で、きわめて危険なものである。そうした原発を、世界有数の地震・津波国である我が国に、集中的に建設することは危険きわまりないことである。以上を踏まえて、日本政府が原発からの撤退を決断し、原発をゼロにする期限を決めたプログラムをつくることを求める。

深谷市上柴町西6-22-1

日本共産党深谷市委員会 代表 中島 保

市政への請願

**賛成討論** 県内の半数以上の自治体が中学卒業まで通院費無料である。また市長の公約であり、早期実現への声も寄せられていることから賛成である。

**反対討論** 市長の公約であるので実現に向けて進んでいるものと思う。今年度予算に盛り込めなかった理由に、厳しい財政状況も考慮しなければならない(実現させるための財政負担の試算は約6000万円)。

賛成 20人

反対 5人

『子ども通院医療費無料を中学校卒業まで年齢拡大についての請願』(趣旨要約)

深谷市でも小学生・中学生を持つ保護者から通院医療費無料の年齢拡大が大変期待されている。少子化対策の一環としても、子ども通院費無料を中学校卒業まで拡大することを望む。

深谷市東方3676-46

新日本婦人の会深谷支部 支部長 堤 和江





市内循環バス「くるリン」

**問** 利用者をもっと増やすための工夫を何か考えているのか。

**答** 各種イベントや広報等でPRし市民への周知をしていく。

**問** 現在は停留所方式だが、なぜ自宅送迎方式にできないのか。

**答** あらかじめ時刻、停留所及び運行ルートを設定した「乗り合いバス」事業として運営している。また自宅送迎方式とした場合、民間タクシー事業者の活動を圧迫する恐れがある。今後、

**問** 岡部駅を一度北側に回って改札に入らなければならない。毎日不便を強いられるが、建設予定はあるか。

**答** 県を通じてJR東日本へ要望活動を行っている。現段階では厳しい回答しかもらえていないが、引き続き橋上駅舎化に向けて要望していく。

**学園都市構想は**

**問** 岡部駅南側へ学園都市をつくる考えはあるか。

**答** 少子化等の影響により、高等教育機関の誘致は非常に難しいと考える。

**JR岡部駅の橋上化は**

**問** 岡部駅を使用する際に、南側からの利用者は一度北側に回って改札に入らなければならない。毎日不便を強いられるが、建設予定はあるか。

**答** 県を通じてJR東日本へ要望活動を行っている。現段階では厳しい回答しかもらえていないが、引き続き橋上駅舎化に向けて要望していく。

**問** 岡部駅を一度北側に回って改札に入らなければならない。毎日不便を強いられるが、建設予定はあるか。

**答** 県を通じてJR東日本へ要望活動を行っている。現段階では厳しい回答しかもらえていないが、引き続き橋上駅舎化に向けて要望していく。

よしだ こうたろう  
吉田 幸太郎

**A** 目標は一日平均19.8人/日だが、平成22年度は10.3人/日

**Q** 事前予約型コミュニティバスの利用状況は、どうなっているのか

# 市政一般質問

議会のホームページから、議会の映像がご覧いただけます。

## 質問項目一覧

(通告順)

- 加藤利江議員
  - ①景気対策について
  - ②入札について
  - ③経費削減について
  - ④産業祭について
  - ⑤財産の取得について
- 吉田幸太郎議員
  - ①事前予約型コミュニティバス
  - ②岡部駅南口の学園都市構想は
- 石川克正議員
  - ①行革と広報
  - ②行政コストと財政収支バランス
- 馬場茂議員
  - ①荒川中部地区国営かんがい排水事業について
  - ②産業祭について
  - ③緑の回廊構想について
  - ④市レングのまちづくり条例について
- 柴崎重雄議員
  - ①深谷市の活性化
  - ②放射能汚染対策
  - ③緊急時の体制
- 五間くみ子議員
  - ①男女共同参画行政について
- 武井伸一議員
  - ①青淵公園について
  - ②公民館について
  - ③民生児童委員について
  - ④八基豊里地区の被害について
- 清水睦議員
  - ①放射能測定の定期化を
  - ②福祉予算削減の撤回を
  - ③介護保険利用料の補助の拡充
- 為谷剛議員
  - ①中心市街地活性化について
  - ②防災対策について
- 清水修議員
  - ①地域に根差した産業振興について
  - ②太陽光発電の普及について
  - ③補助金の復活について
  - ④市民参加の教育行政について

- 村川徳浩議員
  - ①農業振興について
- 中矢寿子議員
  - ①市有財産の有効活用について
- 永田勝彦議員
  - ①深谷市本県立特別支援学校前市道安全確保
  - ②深谷市本田市道川D-13号線の安全確保
  - ③深谷市畠山市道川C-204号線の舗装改善
  - ④一級河川吉野川魚道整備を
  - ⑤花園ICまちづくりジャンクションプロジェクトのコンセプト
- 高田博之議員
  - ①市職員の業務従事の取組姿勢
  - ②基金の運用は適正であるか
- 加藤温子議員
  - ①市長マニフェスト無駄削減目標7億円の進捗について
  - ②補助金の見直しについて
  - ③保護者負担金の現状と対策
  - ④給食で地場産食材利用推進は

**Q** 入札の一抜方式の導入について

**A** 導入の予定はない

かとう としえ  
加藤 利江

**問** 業者への平等を図るためには、一抜方式を導入した方がよいと思うが。

**答** 一抜方式による入札を導入した場合、受注意欲のある業者が排除されてしまうことから、現状においては考えていない。

**問** 各学校に設置するエアコン工事の入札は、まとめてではなく各学校ごとに入札をした方が多くの業者の皆様の仕事が分配できて大変よいことだと思うが、市当局の考えを聞きたい。

**答** より多くの業者に受注機会を与えるため、分割発注を考えている。

**問** 市内本店と同等扱いの事業所は、税金の支払いはあるのか。

**答** 事業所が市内にあれば、市税を納めていただくことになっている。

**問** 最低制限価格にランダム係数を用いている理由とその方法では高額で入札した業者が落札してしまう矛盾が起きているが市の考えは。

**答** 過度な低価格入札に歯止めをかけるため、最低制限価格制度に移行した。



旧埼玉県立総合教育センター

**問** 産業祭の全容を聞きたい。

**答** 今年度については、渋沢栄一没後80年記念事業の一環として実施する。

**財産の取得について**

**問** 高額な教育センター跡地をなぜ取得するのか。

**答** 上柴地内に存在するまとまった土地を取得する絶好の機会と考えたから。

**問** 何に利用するのか。

**答** 現在のところ、決まっていない。

**Q** 情報の積極公開で行革のけん引を

**A** 広報活動の重要性は強く感じている

いしかわ かつまさ  
石川 克正

**問** 広報様式も近代化するべきでは。

**答** 市の広報活動としては、紙媒体の「広報ふかや」以外に市ホームページやモバイルサイトの運用から情報発信を行っている。また、パソコンや携帯へのメール配信サービス、庁舎に設置してあるモニター広告やJR深谷駅前にある電光掲示板、深谷ねぎっこプロジェクトを活用し最新の情報を発信している。

**問** 適切、積極的な情報公開が行財政改革をけん引するものと考えているが。

**答** 行財政改革を推進する上で市政の情報公開が深くかわっており、広報活動の重要性は強く感じている。その上で、広報事項に関係する担当部署と協議しながら、できるだけ公開する方向で進めている。

**問** 各部署で行われている行政サービスや、各種お知らせについて、議会の中でも「周知徹底を図ります」等の回答が多い。さらに、市民から寄せられるご意見の中には、「お知らせが十分」や、「いつ広報されたの？」等の声は依然多い。また、苦情に発展しているケースも見受けられ、業務能力を

**問** 動画広報について先例市を調べると、ケーブルテレビを持っている自治体が多い。また、動画広報で使用する情報の政策経費もかかってしまう。ただし、編集作業の伴わない情報については研究していく。



市政情報を動画で流せないか

一般質問の記事は質問者本人が執筆したものを編集し、掲載しております。

一般質問記事の掲載は、通告順です。



Q

荒川中部地区国営かんがい排水事業の進捗状況は？

A

地元説明会を10月より開催し、意向確認を順次行っていく

馬場 茂

問 用水路の改修を主体とした整備事業が進められているが、現在の進捗状況はどうなっているのか。また地元負担について市の支援はあるか。

答 平成23年度は、地元説明会を10月より開催し、国営土地改良事業の実施に係る意向確認を順次行う。平成25年度には全体実施設計を行い、地権者の同意をもって法手続きをし、平成26年度から事業着手の予定。地元地権者の負担金が極力軽減できるよう努力する。



農畜産物共進会

農畜産物共進会実施を見送る計画になった経緯は？

問 産業祭において、農産物の共進会を行わないというが、実施すべきではないか。

答 農業関係団体に意見を聞いたところ、中心市街地で実施した場合、深谷公民館体育室での実施が考えられるが、農業部門のメイン会場から離れてしまい、一体とした開催ができないのではないかと意見が出され、今年については見送る方針が出た。

緑の回廊構想は、計画どおりか

問 緑の回廊構想には、街路地の植樹がうたわれているが、現状は？

答 平成23年度は県道86号線（花園本庄線）に街路樹の植栽を予定。

レンガのまちづくり条例の改善策は

問 制度ができて16年。レンガのまちづくりが進んでいるとは思えない。レンガづくりの商店街にしたらどうか。

答 レンガ条例のPRに重点を置く。



花園インターチェンジ

Q

深谷市の活性化を目指すための構想の将来的展望は

A

整備計画策定業務を委託発注し内容を検討

柴崎 重雄

問 花園インターチェンジまちづくりジャンクション構想計画を進める上で他事業との連動、具体的な施設等の内容、予想集客数、各地の同様施設の実態、地元地権者の反応について聞きたい。

答 この計画は構想段階のため他プロジェクトの連動、集客見込みは検討課題である。なお、計画エリアが未決定のため地権者が不確定で意向の把握はできない。また都市型集客施設の具体

放射能汚染対策はどうなっているか

問 深谷市所有の計測機器の精度、購入配備はどうなっているのか。また農畜産物の価格の下落や風評等による放射能に関連した被害はあったか。

答 測定器は消防所有と今年8月購入のものがあり、両器とも同程度の精度。測定は新器で各幼・保・小中学校及び13の公園を定期的に行う。農畜産物への影響は、検査結果は暫定規制値以下だったが、販売価格の下落が見られた。

緊急時の体制について

問 今年8月25日22時ごろ、一部地域で断水発生。その原因と対応、広報は。

答 停電により皿沼浄水場の配水ポンプ停止により断水、濁水が発生。直ちに関係職員が対応。翌日、濁水は復旧した。広報はHPのみだったが、今後迅速な対応を行っていく。

Q

男女共同参画社会の実現に向け、さらに積極的な姿勢で

A

センターの機能強化を図り、市民の認知を高める事業を展開していく

五間くみ子

問 男女共同参画推進センター（Lフォルテ）の機能の充実はもっと積極的な姿勢で取り組むべきと考える。本年度より新たに取り組んだ事業は。

答 新たな事業の展開に至っていないが、これまでの事業の充実強化を図った。具体的には、図書の実施、窓口の延長などのほか、女性相談窓口事業を月1回から3回に拡充し再開した。また、土日職員が勤務する体制となり利用者の視点に立った運営に変更している。

問 男女共同参画社会の実現には、各々の意識の変革が必要であり、そのためには市民を大きく巻き込む形の事業展開が必要ではないか。先進事例を取り入れるなどして深谷市版のLフォルテ運営を考えるべきでは。

答 多くの市民に携わっていただくことは重要であり、研究検討していく。DV対策のさらなる強化を

DV対策のさらなる強化を

問 DV（配偶者等からの暴力・ドメスティックバイオレンス）に関する近年の相談件数は？

答 昨年度は24件。今年度は8月までで8件であり、相談内容も複雑化、多様化している。

問 「配偶者等からの暴力防止及び被害者支援基本計画」を策定し、暴力根絶に向けた取り組みが必要であると思いが、市の見解は。

答 基本計画は、男女共同参画推進プランの見直しの中で、基本目標の一つと位置付け強化していく。



Lフォルテ

Q

市民がもっと楽しめる青淵公園にできないか

A

市民が利用できる公園になるよう努力したい

武井 伸一

問 広い芝生の公園だが一部しか利用されていない。芝生を使ったスポーツを楽しめる公園にできないか。

答 スポーツ専用コースの計画はないがより多くの市民に利用いただけるよう地元の方々の協力をいただきながら調査研究したい。

問 遊具の周りに日陰が欲しいが何か対策を考えているか。

答 公園利用者から日差し除けの要望があり、日陰を作る対策を検討する。



青淵公園

公民館と分館長の関係は

問 自治会は自主団体であり行政の下部組織ではないが、自治会長が分館長の任命を受けるのはおかしくないか。

答 自治会長を分館長とする規定はないが、市では自治会との関わりも深く今後分館長としてお願いしたい。

民生委員・児童委員の活動範囲

問 自治会を2つ受け持つ民生委員・児童委員がいるが活動に支障はないか。

答 複数の自治会を受け持つことにより活動に支障があれば地区で協議していただき県に対して増員要望していく。

豊里・八基地区の水害対策は

問 清水川の排水機場はポンプ2台が設置されているが先日の台風12号の豪雨で排水が追いつけなかったが対策は。

答 清水川の流水機能として水の流れを阻害する雑草の除去や河川の適正な管理を県に願いますとともに排水ポンプの増設を県に要望していきたい。



放射能測定機の定期化を

四半期ごとに測定する

清水 睦

問 ことも達を放射能汚染から守るため信頼性の高い放射能測定器を複数購入し、定期的に市内の保育園・幼稚園・学校・公園などの測定を行い、必要な処置を講じるべきではないか。

答 1台の測定器は購入した。測定は四半期ごとに実施する。

問 熊谷市や寄居町は2週間ごとに計測している。なぜ当市はできないのか。

答 深谷市では90カ所、県も4カ所測定したが、数値に変動はないことから春夏秋冬の節目節目ごとに測定する。



放射能測定器

福祉予算削減の撤回を  
問 補助金の見直しで、来年度から障害児・処遇改善・運営費の補助の削減や、廃止をしようとしている。福祉予算特に保育関連予算は増やすことがあったとしても、減らすことなど許さない。特に障害児手当を削ることは一番弱い人へのしわ寄せである。撤回すべきではないか。

答 私立保育園の補助金は、他市と比較しても高いものとなっていた。今回の見直しは妥当である。

介護保険利用料補助の拡充を

問 現在市では在宅に限り、市民税非課税世帯のみで年金80万円以下で2分の1、年金80万円以上で4分の1である。しかし、これでも払えないと困っている方々が大勢いるこの制度を拡充して減免制度を創設すべきではないか。

答 この制度の補助率は近隣市町より高く、また公助として生活保護制度もある。拡充は考えていない。

住宅リフォーム助成制度の創設を

研究していきたい

清水 修

問 市は、小規模修繕事業に大きな力を注いでいるが、この事業は公共施設に限られている。個人住宅の改修に補助金を出す住宅リフォーム助成制度は地域の景気に大きなプラスになっている。制度の創設で地域に根差した産業振興を図るべきではないか。

答 広く市民や市内事業者効果が波及するものを研究していきたい。

太陽光発電の設置に補助金を

問 市は、住宅用太陽光発電の設置に補助金を交付していたが、6月で予算枠がいっぱいになり補助金を打ち切ってしまった。同じような状況で川越市では、9月議会で予算を追加している。予算を追加し、市民の要求に応えるべきではないか。

答 9月議会で予算を追加した場合、これまで補助金を使わないで設置した市民との不公平が生じるので、予算の追加は考えていない。

補助金の復活を

問 重忠太鼓保存会や重忠踊り同好会



島山重忠公

議会で「これ」議員も熱が入ります！...9月議会の一般質問は3日間。延べ110人の方が傍聴にいらっしやいました。

中心市街地活性化の取り組みは

地域の活力を支えるため、街のにぎわいを取り戻す取り組みは必要

為谷 剛

問 まちの顔ともいえる中心市街地の活性化を、市長はどのように考えているのか。

答 現在、土地区画整理事業や商工会議所におけるTMO事業に取り組んでいる。今後も、地域の方々や地域で活躍するNPO団体等とのより一層の連携を図りながら、積極的に取り組んでいく。

空き地の有効利用については。

答 例年開催されている七夕まつりや深谷まつりなどの市や商店街のイベント会場としても有効活用している。さらに、今年度は産業祭を中山道沿道をメイン会場として開催することが決定している。今後とも、区画整理事業の進捗と調整を行っていく。

キンカ堂跡地の行政としての取り組みは。

答 市としても、まさに市の顔ともいえる立地条件であるこの土地がどのように活用されるのかは、重要な事柄と考えているが、現状ではキンカ堂跡地の所有者である民間事業者の土地利用に期待せざるを得ない状況である。し



キンカ堂跡地

防災対策について

問 自主防災組織の組織数と組織率は。

答 平成23年9月1日現在、202自治会中76組織で、組織率は37・76%である。未結成の自治会への呼びかけ等、協力を願いたい。

畜産の重要性を訴える試みをしてはどうか

引き続き取り組んでいく

村川 徳浩

問 環境問題等で地域住人の理解を得ることが必要不可欠な時代にあつて、畜産を理解してもらうための教育的なサポートも畜産振興につながると思うが、畜産の重要性を訴える試みをしてはどうか。

答 畜産の重要性を理解してもらうため、産業祭で啓発チラシを配布することや、広報ふかやへの記事掲載、パンフレット等の作成を引き続き取り組んでいくとともに、子供を対象とした啓発活動を教育委員会と協議しながら研究していく。

問 深谷市民文化会館を深谷ねぎをPRするためにネギーホールと改名してみてもどうか。お金をかけずに深谷ねぎをPRできる方法だと思いが。

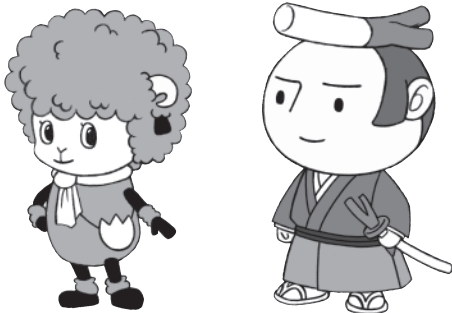
答 深谷市民文化会館として親しまれているので改名する考えはない。

常識にとられない野菜のPRを

問 いろいろな種類の深谷ねぎを泥つきのまま焼いて食べる深谷カルソツツをイベント等で実施する考えはないか。

答 ねぎの一本焼きは見た目のインパクトがあるので、イベントの内容や会場の状況により検討していく。

問 深谷ねぎ之進やぶろっころんといったキャラクターを着るみを作るなどして積極的に活用する考えはないか。



「ぶろっころん」と「深谷ねぎ之進」



Q

PRE戦略(公的不動産の積極的活用)の導入をする考えはないか?

A

公共施設の今後のあり方について、方向性を定める目的で調査中

中矢 寿子

長引く景気低迷の影響により、地方自治体の財政状況が厳しい中、公的不動産のさらなる効率化や利便性向上に向けた利活用が重要になっている。公的不動産を一元管理できる資産台帳は整備されているのか。

現在、財産の調査を行っているが、資産評価をどうするかが難しい。先進地の台帳づくりを参考に、できるだけ早くに整備をしたい。

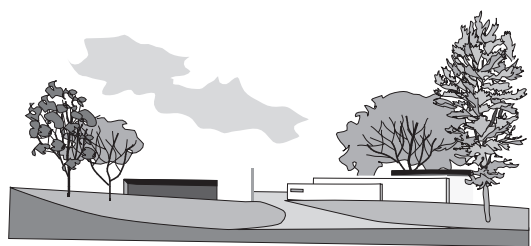
ホームページによる公有地売却は、どのように行っているのか?

土地評価が変わるため、いつでも売却はできないが、毎年公売している。

少子高齢化・人口減少・逼迫する財政等、これらへの対策はあるのか? また、公共施設更新期到来に向けた準備は大丈夫なのか?

通常公共団体は、積立金を用意しているが、耐震の問題もあり、一度にすべての更新は難しいので、今後の方針を決めていきたい。

限りある財産・財源のもと、住民にとって望ましい行政サービスを提供するため、全庁職員と全市民に向けた



Q

深谷市本田県立特別支援学校前市道安全確保が喫緊の最重要課題

A

検討していく

永田 勝彦

深谷市本田県立特別支援学校南側市道は通学路である。排水路に蓋設置等により歩行者用通路を確保。自動車通行が対向車待ち。この状況を改善。危険性や緊急性を考慮し検討する。

深谷市本田川D-13号線の改良

県道深谷一嵐山線からの進入通路。ここは川本南小学校・川本南保育園・清風苑・在宅介護支援センター等の公共施設が集中している地区への進入道路である。至急改善改良、整備を。過日草むらや樹木の伐採を行った。実施中の通学路整備を優先したい。

深谷市皇山川C-204号線舗装改良

舗装整備後、水道引き込み、集落排水等の掘削工事にて舗装が陥没。降水時、雨水がたまり車両等により通学児童へ雨水がはね危険。改善を求める。舗装のたわみがあり改良を行う。

一級河川吉野川最後の魚道整備

かつては鯉・鯰・石斑魚の宝庫の吉野川落合橋下流最終魚道構築整備は。



吉野川の良い風景

一般質問記事の掲載は、通告順です。

Q

市職員の業務取り組み姿勢は

A

市民の満足感が得られるよう対応していく

高田 博之

埼玉県では県庁を最大のサービス産業であるとしている。深谷市も取り組んでいくべきである。

市民目線にあった親身な対応を指導している。

深谷市役所の劇的なサービス向上はできないか。

法令に準じた業務を確実に丁寧に粛々と実施していく。

役人というイメージが変わるような新人研修をするべきだが。

採用1年目に社会人としての姿勢・マナー、情報システム、文書管理、公務員倫理等で延べ55時間行った。

市の基金運用状況について

市の基金運用は適正か。

地方自治法に基づき、適正かつ効率的な運用に努めている。方法としては、長期的運用は国債、地方債、東京電力債による。短期運用は大口定期預金、譲渡性預金及び国庫短期証券により行っている。

東京電力は株が値下がりしているが大丈夫なのか。



深谷市役所

株への投資はない。東京電力の電力債が1億9956万円あるが、平成23年度からは運用の対象外としている。

平成22年度の基金の総額は、157億3958万円である。

利益はどのくらいか。

3782万円である。

基金運用に対して心がけていることは、

確実性・安全性である。

「議会だより」はホームページでも見られます。市のホームページを開き、「深谷市議会」、「市議会だより」(PDF版)の順にクリックしてください。創刊号から今号までご覧いただけます。

Q

無駄削減目標 7億円の進捗は?

A

平成22年6月補正に約2億3千万円平成23年度予算に約1億6千万円反映

加藤 温子

まず徴収が先、平成22年度決算書多額の収入未済の事業がある。住宅新築資金貸付金元利未収額1億4千万円。省エネモアル温室管理事業の土地・建物貸付金未収額7千5百万円。保育園(公立・委託分)保育料未収額8千万円。児童保育室保育料未収額808万円。計約3億3千万円。では事業仕分け、補助金見直し実施で削減額は、目標7億円の進捗と効果・取り組みは。

平成22年6月補正と平成23年度予算への反映額合計、単年度で約4億円。効果は主要事業のあり方を見つめる機会となり、職員の意識改革となった。また廃止・予算減額した事業を複数年度積み上げによる間接的効果もある。今後は外部評価制度で取り組む。

補助金見直し基準及び縮減額と公平性は。(次回、具体例にて質問)

補助金見直しは削減だけを目的としない。5つの見直し基準を設定し、増額・減額・終了もある。削減額は今後の廃止予定を加えると1億7500万円となる。公平性では今まで見直し

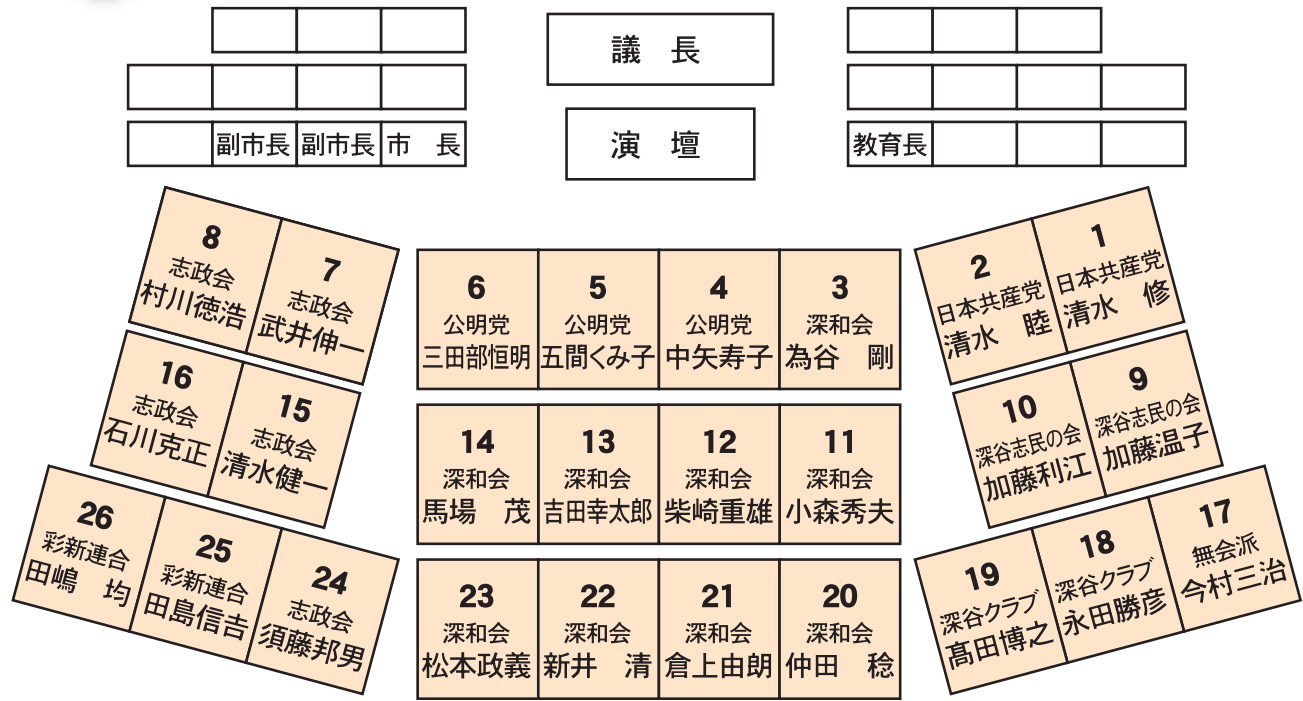




ふかや市議会だより、点字版とテープ・CD版も発行しています。送付を希望される方は市社会福祉協議会（TEL 573-16563）へご連絡ください。

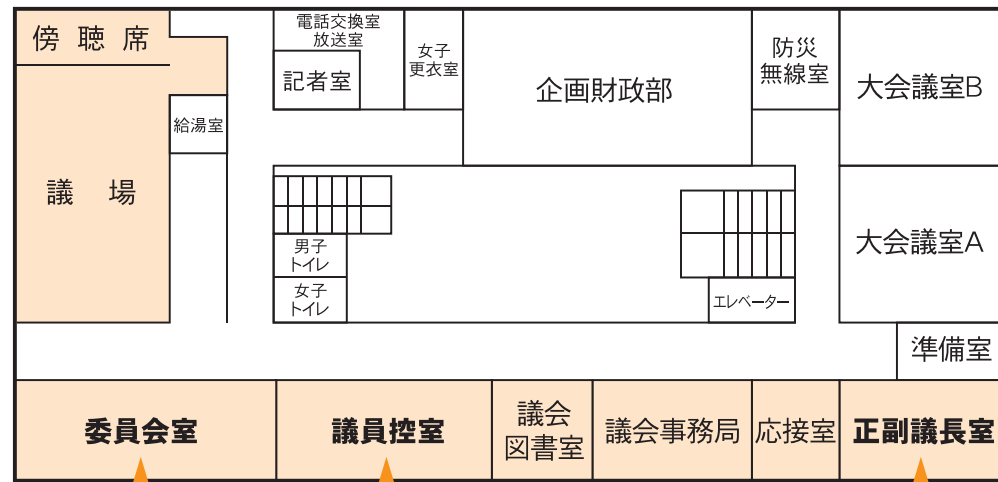
Q 議場内で議員はどのように座っているの？

A 下の図（傍聴席側から見て）のように会派でまとまって座っています。



Q 議員はどんなところで活動しているの？

A 市役所内では主に3階南側の各部屋で活動しています。



# 議会あれこれ 拡大版



## 「議員全員協議会」とは？

正規の議会の会議ではなく、問題やその他について協議するために開かれる会議のことをいいます。全協は議会の会議や委員会のように煩わしい手続きを必要とせず、会議の公開の原則も適用されず、会議録もないため、自由に発言でき、また、詳細な説明をうけることもできます。

## 【花園IC まちづくりビジョン構想】

8月25日開催の議員全員協議会にて市側から標記の構想について報告がありました。ただし、まちづくりの方向性を示したにすぎず具体的な取り組みである土地利用の認可や地元同意などの課題については今後進めていくものであります。

### 構想に至った経緯

人口減少・少子高齢化社会の到来を迎え、地域のにぎわいや活力の低下が課題となっています。また地域産業の縮小なども深刻な問題であり、特に埼玉県西北部地域は、県内の他の地域と比較するとその格差は大きく、今後さらに広がることも懸念されています。

このような課題に対応するため、市では花園インターチェンジ周辺部を広域的な街づくりの拠点と捉え、調査検討業務（平成22年度）を実施し検討を始めました。

### 構想の概要

高い集客効果と認知効果を有するアウトレット・モール（都市型観光施設）などの商業施設を誘致することにも、深谷らしさを演出する農産物の生産・加工体験やイベント活動が行える公共施設を配置し、地域資源の活用、本市と近隣市町との交流・連携を図ります。



花園総合支所



岡部総合支所



川本総合支所

## 支所業務一部復活

「総合支所の充実により窓口業務においては旧3町の住民の利便性は低下させない」との合意の下で合併して5年以上が経過しました。行政サービスに關して旧3町の住民生活にどのような変化が顕われたのか。私たち議員の関与できない所で、総合支所の職員数の減少、機能の縮小に3町出身の議員は心を痛めています。

9月の改正により「死亡届と付随する業務」を支所で扱うことを突破口に支所機能の充実を求めていきます。





## 12月定例会の日程のお知らせ

11月24日 ▶ 12月15日

平成23年12月定例会は次の日程で午前9時から開催する予定です。

11月24日(木)	開会・議案説明
25日(金)	議案説明
29日(火)	議案質疑
30日(水)	〃
12月 1日(木)	環境都市委員会
2日(金)	総務委員会
5日(月)	市民産業委員会
6日(火)	福祉文教委員会
8日(木)	一般質問
9日(金)	〃
12日(月)	〃
13日(火)	〃
15日(木)	討論・採決・閉会

※日程は変更になる場合があります。詳しい内容は議会事務局(市役所3階)までお問い合わせください。  
TEL 048(574)6662  
FAX 048(574)6673

# 新企画ボランティアさん紹介

今号から市内で活動されているボランティアさんを紹介します。第1弾は朗読ボランティア「はなみずき」さんです。ふかや市議会だよりをはじめ、広報ふかやなどの音声訳をボランティアで行っており、多くの市民の方に役立っています。

## 第1弾「はなみずき」のみなさん



深谷音訳・朗読ボランティア

はなみずき代表

谷本 雅江

昭和50年に設立し、現在会員数33名で活動中です。広報・市議会だより・社協だより・福祉かわら版・声の雑誌を録音図書にして郵送でお届けしています。また、対面朗読・依頼図書作成・子供達との交流会等も行っています。文字情報を

「日本語の音の言葉」として、人に伝えるための音訳・朗読等の勉強会もかかせません。

## 議会インターネット配信

議会中の生中継・録画配信



【表紙の写真】晴天に恵まれた大寄小学校、秋の運動会。地域の方や保護者の声援を浴び、全力で校庭を駆け抜ける児童たち。魅せる笑顔や、組体操での真剣なまなざしが印象的でした。

## 編集委員会

## 編集後記

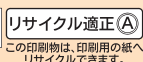


各地区の秋祭りや体育祭など恒例の行事も慌ただしく終わり、気がつけば晩秋のひんやりした風を感じる季節になりました。残暑が厳しかった9月議会が嘘のようです。

さて今号の議会だよりはいかがでしたか。編集委員が自ら執筆し、構成・デザインまでアイデアを持ち寄り、議員が汗をかいて作りました。本来の議会だよりの役割を再考し、手塩にかけて作った議会だよりです。多くの方の手にとってもらえたら幸いです。

石川 克正  
五間 克正  
石川 克正  
五間 克正

委員	石川 克正
委員長	五間 克正
副委員長	加藤 温子
委員	清水 修子
委員	高田 博之
委員	田嶋 均
委員	為谷 剛
委員	中矢 寿
委員	三田 恒明
委員	村川 徳浩



この印刷物は、国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(グリーン購入法)に基づく基本方針の判断の基準を満たす紙を使用しています。